

平成 25 年度 事業計画書

(平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日)

1. 吉川英治文学賞の決定

生前吉川英治が国民文学に遺した偉業を記念して吉川英治文学賞を贈呈する。

- ① その年度に最も優秀な文学作品を発表した作家を選ぶ。
- ② 期間は、平成 25 年 1 月 1 日より同年 12 月 31 日までとする。
- ③ 各種文化機関並びに関係文化人にアンケートを出して推薦をうける。
- ④ 選考委員会を設け、慎重審議の上決定する。
- ⑤ 賞牌及び副賞として、金参百万円を贈呈する。

2. 吉川英治文学新人賞の決定

最も将来性のある新人作家を選び吉川英治文学新人賞を贈呈する。

- ① その年度の吉川英治文学新人賞にふさわしい小説を発表した新人作家を選ぶ。
- ② 期間は、平成 25 年 1 月 1 日より同年 12 月 31 日までとする。
- ③ 各種文化機関並びに関係文化人にアンケートを出して推薦をうける。
- ④ 選考委員会を設け、慎重審議の上決定する。
- ⑤ 賞牌及び副賞として、金百万円を贈呈する。

3. 吉川英治文化賞の決定

日本文化の発展のため讃えられるべき業績をあげながらも、報われることの少ない人、あるいは団体を発掘賞揚し、吉川英治文化賞を贈呈する。

- ① 各種公共団体並びに、関係文化人にアンケートを出して推薦をうける。
- ② 選考委員会を設け、慎重審議の上決定する。
- ③ 該当者は 3 名乃至 5 名（または団体）。賞牌及び副賞として、1 件金百万円を贈呈する。

尚、吉川英治文学賞、吉川英治文学新人賞、吉川英治文化賞は「吉川英治賞」として、平成 26 年 4 月 11 日（金）帝国ホテルにて贈呈式を実施する。

4. 吉川英治記念館

故吉川英治が日本文化に及ぼした偉大な功績を記念して、近代文学に関する資料を収集保管し、かつ展示して一般の利用に供し、文化の発展に寄与するため記念館を運営する。

*平成 25 年度より、記念館をオフシーズンは閉館とし、期間限定のイベント時の

み開館とする。(平成26年1月より2月21日まで閉館とし、都内ギャラリーにて写真展を開催)

* 記念館敷地内の梅が「ウメ輪紋ウイルス (プラムポックスウイルス)」の感染し、この3月までに83本のうち34本伐採する予定となる。(残り49本は感染状況での判定となる)

■企画展について

- ①「観光と吉川英治 (仮)」展
 - 会期：4月27日～6月30日 (於館内)
 - 内容：梅郷の再生を祈念して、吉川英治が日本各地の観光について行った提言や自身の旅の様子を写真などで紹介。
- ②「平成25年 青梅アートジャム」展 (協力/会場と設営)
 - 会期：6月1日～7月7日 (於館内)
 - 内容：地元芸術家 (クラフ系) 団体への会場と設営提供。
- ③「吉野村時代の吉川英治 (仮)」展
 - 会期：8月24日～9月29日 (於館内)
 - 内容：吉野村時代の吉川英治の様子を写真と資料で展示。
- ④「第16回写真コンテスト入賞作品」展
 - 会期：10月5日～10月20日 (於館内)
 - 内容：当年度入賞作品の展示。
- ⑤「草思堂菊花」展 (於庭内)
 - 会期：10月頃 (予定)
 - 内容：地元菊の会の作品を展示。
- ⑥「平成25年 アートプログラム青梅」展 (協力/会場と設営)
 - 会期：未定
 - 内容：青梅に関連のあるアーティストによる企画。
- ⑦『「宮本武蔵」を中心とした常設 (仮)』展
 - 会期：平成26年2月22日～6月1日 (仮)
 - 内容：休館期間に対応して固定的な常設展を変更し、開館期間毎にテーマを設け展示内容を入れ替える。必要に応じてミニ展示も開催。第1弾として展示を「宮本武蔵」を中心とした内容とする。
- ⑧ その他

■イベントについて

- ⑨「第5回草思堂落語の会」
 - 日時：4月14日 (日) (於母屋)

- 内容：文子夫人を偲ぶ落語会。噺家・柳家禽太夫。募集人数 50 名。
- ⑩「吉川記念館おはなし会」（協力／講談社おなはし隊）
 - 日時：6 月頃（於館内）
 - 内容：記念館内か、もしくは近隣の幼稚園の協力も仰ぐ。
- ⑪「英治忌」
 - 日時：9 月 7 日（土）（於記念館）
 - 内容：昭和 37 年に世を去った英治の命日の集い、母屋を公開して抹茶・樽酒・冷茶を提供。
- ⑫「吉川英治文学賞受賞者と語るひととき」
 - 日時：10 月 6 日（日）（於母屋）
 - 内容：第 47 回吉川賞受賞者の講演。募集人数 50 名。
- ⑬「第 4 回英治記念館文学散歩」（於未定）
 - 日時：11 月上旬
 - 内容：吉川文学及び、記念館ゆかりの地を探訪。募集人数約 35 名。
- ⑭「第 16 回写真コンテスト入賞者作品」館外展（於ポर्टレトギャラリー・四谷）
 - 会期：平成 26 年 1 月（予定）
 - 内容：記念館閉館期間につき、当年度入賞作品の館外展示。
- ⑮ その他

■ 営繕について

- ・ 外塀屋根の改修（前年度計画の延期）
- ・ その他

■ 資料の補修について

- ① 一部原稿資料の脱酸処理と裏打ち。
- ② 一部雑誌資料の脱酸及び、金具除去処理。
- ③ 巻物等古文献の補修。

以上

平成25年度予算書

収支予算書総括表

平成25年4月1日から平成26年3月31日

(単位：円)

科目	予算額	備考
I 一般正味財産増減の部		
1 経常増減の部		
(1) 経常収益		
① 特定資産運用益	41,000	
② 事業収益	60,540,176	
文学資料ほか公開事業収益	8,810,000	
不動産貸付事業収益	51,730,176	
③ 雑収益	917,000	
経常収益計	61,498,176	
(2) 経常費用		
① 事業費	76,596,470	
吉川英治賞事業費	23,800,000	
文学資料ほか公開事業費	36,225,451	
不動産貸付事業費	16,571,019	
② 管理費	1,070,000	
経常費用計	77,666,470	
当期経常増減額	△ 16,168,294	
2 経常外増減の部		
(1) 経常外収益	6,044,328	
(2) 経常外費用	0	
当期経常外増減額	6,044,328	
法人税・事業税	6,200,000	
他会計振替額	0	
当期一般正味財産増減額	△ 16,323,966	
一般正味財産期首残高	1,093,770,251	
一般正味財産期末残高	1,077,446,285	
II 指定正味財産増減の部		
当期指定正味財産増減額	△ 6,044,328	
指定正味財産期首残高	182,247,952	
指定正味財産期末残高	176,203,624	
III 正味財産期末残高	1,253,649,909	